まちづくりオープンミーティング　意見・質問概要

日　　時：令和７年7月5日（土）　13：30～15：00

会　　場：SHOWAグループ市民会館 12人

視聴者数：Instagram 243人　（最大同時接続数　 28人）

　　　　　　　YouTube 681人　（最大同時接続数　107人）

会場

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| № | 種別 | 内容 |
| 1 | 意見 | 日岡山公園でグラウンドゴルフをしているが、公園利用者にボールが当たる事故があり、３つあるコースのうちCコースが使えなくなった。高齢者の健康寿命を延ばすためにも、通路と区分けするなどの対応をして、また使えるようにしてほしい。 |
| 回答 | グラウンドゴルフが高齢者の健康増進に寄与していることを十分理解しているので、使えなくなったCコースは、一度その現場を見て状況を確認して再開できるか判断したい。今までも公園利用者から「公園が占用されている」という意見もあった。公園利用者全員が安全に楽しく使えるようにしていくことが大切であり、グラウンドゴルフ利用者の皆さんにも安全対策をお願いしながら、園内を散歩する方と共存できるように、一緒に考えていきたい。 |
| 2 | 意見 | 灌漑用水路は水門を閉めて水田に水入れするためのものだが、住宅開発の度に雨水路が接続され、雨が降ると水路の水かさが増し危ないということで水門を開けられてしまう。水田の水が減って困るので、雨水路は別で作るなどしてほしい。また、泥上場は水利組合に管理を任せているが、市所有地であるので、市で管理してほしい。 |
| 回答 | 雨水路を別で作るのは非現実的なので、危なくて安全対策が必要ということであれば治水対策課に相談してほしい。水路が深いなど地元で掃除ができない場合は一定の基準をもって市で対応している。掃除も含めて、安全性のため蓋が必要な場合や泥上場の管理において水利組合で手に負えない場合についても個別に治水対策課へ相談してほしい。 |
| 3 | 意見 | 玄米の栄養素を豊富に残しながら白米のようにおいしく食べられるように精米した金芽米を学校給食で導入してほしい。 |
| 回答 | 学校給食で導入するには多くの量を決められた日に納入する必要があるため難しい面もあるが、提案として受け取らせていただく。 |
| 4 | 意見 | 最近町内会の役員になったが、負担が非常に大きい。町内会の必要性について市はどのように考えているのか教えてほしい。 |
| 回答 | 加古川市の町内会は加入率も高く、市としては町内会の皆さんに地元の意見を集約いただくなどの様々な調整をお願いしており、町内会は共にまちづくりを進める大切な存在だと考えている。負担が大きいというご意見については、町内会からも成り手がいないという声を聞いている。町内会長へ業務の負担についてアンケートを行い、№2の水路の回答のように、町内会の高齢化が進んでできないなど、負担となっている業務は市で一定の基準を設けたうえで行うようにするなど、負担軽減の取り組みを進めている。 |
| 5 | 意見 | 毎年開催されているかわまちづくりイベントのかこフェスで、今年から一部が有料ステージになっていた。できれば全部観覧できるように無料にしてほしい。 |
| 回答 | かこフェスは市が主催しているのではなく、民間の団体に企画運営をしていただいている。大規模なイベント運営には多額の費用がかかるため、有料ステージのチケット代を収益とし、イベント開催の運営費に充てることで、継続したイベント開催を実現されている。主催者は苦労されながら実施していただいていると認識している。 |

ライブ配信

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| № | 種別 | 内容 |
| 1 | 意見 | 障がい者雇用の促進・安定化、賃金の見直しを進めてほしい。 |
| 回答 | 国レベルで議論されるべきご意見ではあるが、加古川市役所も事業所として、総職員数に占める法定雇用率を満たすように障がい者雇用を行っている。もっと促進してほしいという意見として受け止めたい。 |
| 2 | 意見 | 乳がん検診について、40歳以上に対する助成はマンモグラフィのみであり、エコーは対象外となっている。マンモグラフィは身体的負担も大きいため、エコーも対象としてほしい。 |
| 回答 | 制度設計がどのようになっているのか確認する。  乳がん検診は国の指針の基づいて、４0歳以上を対象にマンモグラフィ検査を行っている。30歳代の女性はこの指針に規定する乳がん検診の対象とはならないが、罹患率が上昇傾向にあるため検診対象としている。検査方法については、乳腺組織が発達していてマンモグラフィ検査では乳がん発見が難しい場合があるため、エコー検査を実施している。 |

事前質問

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| № | 種別 | 内容 |
| 1 | 意見 | 生活インフラの老朽化が進み、少子化も継続する中、居住領域を縮小することは考えているか。 |
| 回答 | 住民がいる中で、居住エリアを限定することはできないが、利用率が高い道路や老朽化が進んでいる道路など、優先度の高いインフラから補修するなど、バランスを取りながら進めている。人口が減少している状況では、コンパクトなまちづくりを進めていく必要があると考えている。 |
| 2 | 意見 | 加古川市は気候が安定しており、JRと山陽電鉄もあり、ベッドタウンとしてのポテンシャルは高いと思う。しかし、住環境の魅力を活かせておらず、かといって商業地域として活気があるわけでもない。市長は加古川市をどのようなまちにしたいと考えているのか。 |
| 回答 | 都市部に近い場所でありながら自然を満喫できる地理環境を活かして、かわまちづくりや日岡山公園の再整備に取り組むことで、神戸市や姫路市からイベントを目的に遊びに来てもらえるようなまちにしていきたい。また、産業立地として人気があるのも特徴であり、産業用地の創出にも取り組んでいる。これらの取り組みを通じて市の魅力を磨いていきたい。 |
| 3 | 意見 | 河川敷トイレなどの構造物は川の水位があがった場合には外せる仕様になっているが、かわまちづくりで整備している河川敷の賑わい交流拠点のトイレも、増水時には移動するようなものを予定しているのか。 |
| 回答 | 賑わい交流拠点は、中央市民病院前の河川敷の斜面に盛り土をし、増水時にも安全を確保できる堤防上に常設で整備をする予定である。盛り土によって堤防の強度も増すので、利便性と安全性を両立したものにしていく。 |
| 4 | 意見 | 交通事故に遭った際に、現場の見守りカメラの映像に事故の状況が暗くて映っていなかったと警察から聞いた。現在設置している見守りカメラのことを教えてほしい。 |
| 回答 | 夜間でもナンバープレート等をある程度読み取れる性能のカメラを導入しているが、車のライトの状況によっては白く光って映らない場合もある。  見守りカメラは平成２９年から設置している。市内の刑法犯認知件数は平成２９年から令和６年にかけて約４割の減になっており、見守りカメラ設置の効果だと考えている。 |
| 5 | 意見 | 加古川町木村に（仮称）かこいろこども園が建設中だが、開園後の交通安全の確保はできているか。交通量の予測はしているのか。また対策はどう考えているか。 |
| 回答 | （仮称）かこいろこども園は、加古川幼稚園・鳩里幼稚園・鳩里保育園の３園を統合した新たな認定こども園で、令和８年４月に開園予定としている。建設にあたり交通量調査を実施し、園児の送迎時間帯は交通量が落ち着いていることを確認している。送迎の車が敷地内に進入する際には、左折入庫・出庫を徹底することで交通安全を確保できると考えているので、開園後は周知徹底していきたい。 |
| 6 | 意見 | 予算上難しいとは思うが、車いすを利用する児童や保護者もいるので、全ての小・中学校にエレベーターを設置してほしい。 |
| 回答 | 現在のエレベーター設置状況としては、小学校８校、中学校２校、義務教育学校、特別支援学校に設置ができている。エレベーターの設置だけを先行する工事は難しいため、その他の学校については大規模改修に併せて順次設置を予定している。エレベーターが必要だが進学する学校に無い場合は、教育委員会で個別に相談してほしい。 |
| 7 | 意見 | 加古川駅前で歩きたばこをする人が多く、健康に悪影響がある。他の都市のように、路上喫煙を禁止する条例を制定できないか。 |
| 回答 | 県内では例えば、尼崎市が条例制定し、路上喫煙禁止区域内で条例に違反した場合、その場で1,000円の過料処分を行っている。加古川駅前で実施した場合、喫煙者とトラブルになることも想定されるが、税金を投入して市職員がパトロールするのかどうかも考える必要がある。  現在、喫煙所の設置や啓発などの取り組みをしているが、条例の制定については貴重な意見として受け止める。 |
| 8 | 意見 | 東神吉町の農耕地が企業に安く買い取られ、太陽光パネルの設置場所になっている。後継者がいないために農耕地を手放さなくてはならない個人的な事情かもしれないが、対策はできないのか。 |
| 回答 | 農耕地は個人の財産であり規制はできないが、500㎡以上の太陽光発電施設の設置については、市の条例に基づき、周辺環境との調和や維持管理の方法、施設廃止後の計画などの対応を求めるようにしている。 |
| 9 | 意見 | 若い世代が農業に取り組むことについてどう考えるか。 |
| 回答 | 国・県にも様々な補助制度があるが、昨年度より市独自で「アグリスタート補助金」「認定新規就農者サポート」などの新規就農者をサポートする取り組みを行っている。他の自治体と同様に、加古川市内でも休耕田や耕作放棄地が増えてきているが、市としては農地を活かしてほしいと考えている。 |
| 10 | 意見 | 物価高騰もあり生活が苦しい家庭が増えているが、若い世代やこどもがいない世帯への支援が少ないと感じている。考えられている支援策があれば教えてほしい。 |
| 回答 | 今年度は若い世代への支援として、高校生から大学生相当年齢の若者を対象に、１万5,000円分のデジタルクーポンを配布する若者応援クーポン給付事業を実施する。 |